

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 冬の展覧会

# 時の輪郭

2017年11月3日<sub>日</sub>[金・祝]—12月24日<sub>日</sub>[日]

ごあいさつ

点の集積で彩られる画面——。銅版画家・浜口陽三（1909-2000）の作品を間近で見ると、小さな点が寄り集まって色面を構成していることがわかります。一見すると筆で絵具を置いたような、ずっしりとした、しかしどこか手触りのよさそうな絵肌。

浜口が情熱をかたむけたカラーメゾチントという技法——銅板の表面に、インクを詰めるための無数のまくれ（きず）をつけたのち、図柄を描き出すためにまくれを磨く。それを黄、赤、青、黒の版を4枚つくる——は多大な時間と労力がかけてられています。

本展では銅版画約45点と作品の細部を拡大した展示をします。何倍にも引き伸ばしたことで見えてくる貝の神秘的な形や、毛糸の柔らかな質感をご堪能ください。

私たちの気がつかなかった、静謐な作品の物語のささやかな声に、耳をすませてみませんか。

## 展覧会概要

会場：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション1階、B1階

開館時間：平日 11:00～17:00 / 土日祝 10:00～17:00（最終入館16:30）

入館料：大人 600円 / 大学・高校生 400円 / 中学生以下 無料

休館日：月曜日

《ナイトミュージアム / 会期中、第1・3金曜日

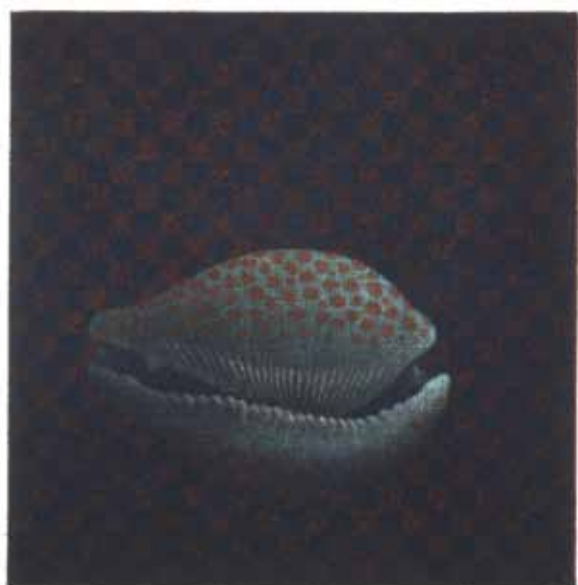
（11/3、11/17、12/1、12/15）は20:00まで開館、最終入館19:30》

※休館日、開館時間、出品作品、イベント内容等は都合により変更する場合があります。



貝（部分拡大）

浜口陽三 1976年 カラーメゾチント 11.5×11.3cm



A. 貝

浜口陽三 1976 年 カラーメゾチント 11.5×11.3cm

## 自分だけの色を見つける、ぬりえワークショップ

浜口陽三は色に対する実験を続けた作家であり、  
同じ構図を色違いで刷りあげた作品がいくつもあります。  
カラーメゾチントと同じ4色（黄・赤・青・黒）の色鉛筆を使っ  
て作品をつくる、ぬりえワークショップです。  
お子様から大人の方まで、  
来館時にその場で参加することができます。  
4色でも、組合せ次第で表現は無限大。  
自由な発想で自分だけの色を見つけてください。

日 時—開館日

定 員—なし（スペースが限られているため、  
混雑時にはお待ちいただく場合がございます。）

参加費—1 回 100 円

申 込—美術館受付にて開館時間中、随時受付  
（最終受付：閉館時間の30分前）



B. 髪

浜口陽三 1953 年 メゾチント 17.7×23.9cm



C. 赤い毛糸

浜口陽三 1979 年 カラーメゾチント 3.7×3.8cm

## プレスリリースご担当者様へ

展覧会をご取材いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。  
作品画像の貸出についてはアルファベット（A～C）を広報担当 新田、吉田までお申し付けください。



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

TEL:03-3665-0251 FAX:03-3665-0257

Email:musee@yamasa.com HP:https://www.yamasa.com/musee/

アクセス:東京外口半蔵門線「水天宮前」3 番出口そば / 日比谷線「人形町」徒歩8 分 / 首都高速箱崎1C 浜町出口又は清洲橋出口から車で約3分  
中央区コミュニティバス(江戸バス) 北循環ルート「蛸殻町一丁目水天宮前駅<22番>」下車 徒歩3分